



# 輝け！北っ子！

## 令和6年度の学校経営・運営① ～次年度に向けてしっかり検討中～

学校では、今年度のまとめに力を入れているところですが、同時に来年度の計画についても細部にわたり検討しはじめています。何回かに分けて次年度の学校経営について紹介したいと思います。まずは、今年度の「(途中)総括」についてです。

※ この内容は先生方との会議に使用した文書の中からの抜粋・加除修正したものです。

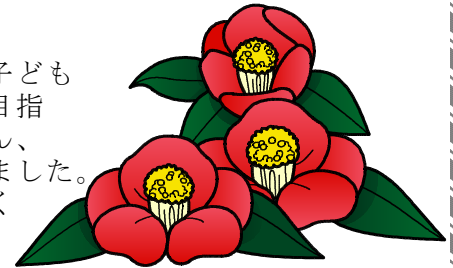
### ◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆【(途中)総括】◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆

#### ○コロナの分類変更 でも厳しい1年に変わりなく

R5年度は、新型コロナウイルス感染症の分類変更により、社会的には制限が解除されました。しかし、感染症がなくなったわけではなく、学校においても、感染拡大により学級・学年閉鎖に追い込まれました。コロナだけでなくインフルエンザの流行でも同様の対応が迫られ、コロナのみに対応していた昨年度よりもさらに厳しい1年となっています。学校としては換気・3密の回避等基本的な対策の徹底等、できる対応を、子どもたちの命を最優先に早急にとってきたことで、これまで大きな混乱・支障もなくなんとか乗り切っています。保護者の皆さんの迅速な連絡、対応に感謝申し上げます。

#### ○主体性の伸長

今年度は「主体性の伸長」が学校全体の大きなテーマです。子どもたちを主役に据え、自らの手で作り出すことを意識した活動を目指して取り組んでいます。学校の中核となる授業の改善はもちろん、ノーチャイム制、児童会活動、縦割り活動等を実践に移してきました。しかし、感染症拡大の懸念から交流を伴う活動の制限を余儀なくされたところもあり、軌道に乗せるまではいかなかった活動もありました。子どもたちに変化の激しい社会を「生き抜く力」をより育み、主体的に行動する「自立した個人」を目指して、活動を見直しながら、継続していく必要があると考えています。



#### ○150周年事業の成果

今年度は創立150周年にあたる節目の年でした。記念式典を始め、運動会や北っこまつりを通して、子どもたちへの愛校心高揚に努めてきました。節目となる年度を飾る活動がしっかりできたのは大きな成果となりました。今後も、学校／ふるさとへの思いは大事にしていきたいと思います。

#### ○知／徳／体 の 側面から

「学びの保障」は学校の役割として欠かすことはできません。しかし、近年、いろいろな事情はあるもの子どもたちの学力の平均値は、伸びは今ひとつで、やや停滞気味です。数値的な部分だけで言えば、決して悪くはありませんが、もっと伸びることができると思っています。もちろん、数値で示される学力は学力の一部でしかありませんが、真摯に受け止めなくてはならないことであるとも考えています。

残念ながら子どもたちの生活面への指導・対応が例年になく多い状況にあります。学校生活での約束が守れないことがあるだけでなく、学校外の対応もあり、多岐に及びます。その都度、子どもと保護者、事案と向き合い対応しているつもりですが、まだまだ気を抜けない状態であると考えています。保護者の皆さんの協力が不可欠です。

体力向上、肥満対策にあたっては、様々な企画・対応を計画しました。しかし、コロナ、インフルエンザ対応もあり、なかなか継続したり、重点化したりして取り組むことができませんでした。家庭での生活習慣に依存することも多く、目に見える成果をはっきりと生み出すことはなかなか難しい事項でもありました。しかし、課題であることは間違いありません。また、運動する児童としない児童、肥満傾向の児童とそうでない児童等の2極化傾向も顕著になってきています。

こうした状況でも、なんとか子どもたちを守り通していることは、大きな成果であると考えています。さらに、守るだけでなく、子どもたちの成長を日々実感しています。このことは子どもたちのがんばりであることはもちろんですが、日々、子どもたちの前に立つ北小の先生方のがんばりもあることは間違いありません。さらに、保護者・地域の皆さんの協力のおかげであるとも思っています。感謝しかありません。

今回の総括を受けて、次年度目指していこうと考える学校の姿については次号以降でお伝えします。保護者の皆さんの協力を得ながら、より具体的に、より戦略的に学校経営をしていきたいと考えています。保護者の皆さんの「次年度の学校に期待すること」などありましたらお聞かせください。